


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都市核地区土地区画整理事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	都市整備 部	区画整理 課	区画整理 係	内線 282
	根拠法令等	土地区画整理法			
目的	市の都市核にふさわしいまちづくりを行うために、将来の商業核形成を誘導するべく、住工の混在をできるだけ解消し、良好な住宅地の形成と魅力あるまちの実現を目指す。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	行政機関等が立地している中心部に位置しながら、市街地の進展や商業集積が立ち遅れた状態にあり、狭い道路に沿って住宅地が立ち並ぶため、土地区画整理事業の実現により都市基盤整備を行う。 (区域：本町一丁目及び複三丁目の各一部、面積：30.9ha)				

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	移転補償件数 (建物移転補償案件及び工作物移転補償案件)	件	目標	59	86
			実績	48	58	
			達成率	81%	67%	
2	仮換地指定率 ※道路等の公共施設工事により、土地の区画を変更し、従前の土地(現在の土地)に代わり、新たに使用可能とする土地(仮換地)を指定した割合	%	目標	85	90	92
			実績	85	90	
			達成率	100%	100%	

事業経費	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	
事業費(千円)	1,443,959	1,592,174	923,744	
財源内訳	一般財源	836,269	748,753	638,512
	国都支出金	151,050	93,652	2,532
	その他	456,640	749,769	282,700
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)	1,443,959	1,592,174	923,744	

市民・議会等から寄せられた意見


事業の換地処分後に権利者の換地相互間にある不均衡を是正するため、清算金を徴収し、又は交付を行う予定であるが、それに関する問合せが寄せられることが多い。
また、市議会定例会においても清算金に関する質疑がされており、関心が高まっている。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和6年度における事業実施状況は、建物等の移転補償4件及び道路や公園等の工事5件であり、おおむね工程のとおりに進捗することができた。 なお、正規職員人件費及び会計年度任用職員人件費は、事業費に含む。	昨今は、様々な社会情勢の変化に伴い、歩掛を始めとする工事費や建物の建築費等が高騰しており、これに伴い、補償金等の算定に用いる東京都の工事積算基準や損失補償基準も随時改訂されているが、現状単価と損失補償基準単価にかい離がみられている。また、国庫補助金及び東京都補助金の補助率は年々下落している状況のため、市の支出が大きく増加しているが、多摩都市モノレール延伸に係る都市計画決定がされたことを受け、事業完了が急務となっている。

今後の方針																									
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
	本町・複地区については、本市の都市核として、市の拠点にふさわしい都市機能を集積し、道路、公園などの都市基盤の整備を進めている。モノレール延伸後を見据え、引き続き、今まで以上に親切かつ丁寧な事業説明を行うとともに、数多くの権利者と対話を重ねることで、事業推進を図る。																								
	<table border="1" style="margin-left: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				今後の方針					コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	維持			低下		
	今後の方針																								
	コスト																								
	削減	維持	増加																						
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																									

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	村山工場跡地関連事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり				
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	事業 係	内線	276
	根拠法令等	都市計画法				
目的	村山工場跡地利用協議会により取りまとめられたまちづくり方針に基づき、土地利用計画の熟度に合わせ、公共施設等の整備を推進し土地利用を進める。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	道路整備計画に関する関係機関協議や土地利用計画の具体化に合わせた都市計画変更の検討などを行う。 令和5年度：東西道路2号構想線の関係者協議 令和6年度：地区内道路及びG地区の地区整備計画の変更 令和8年度：東西道路2号、南北道路2号の道路工事開始					

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	道路整備計画等に関する関係機関協議の推進	—
			実績	推進	推進	
			達成率	—	—	
2	地区計画の変更	—	目標	推進	地区計画変更	推進
			実績	推進	地区計画変更	
			達成率	—	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	0	0	
財源内訳	一般財源	-	-	-	
	国都支出金	-	-	-	
	その他	-	-	-	
会計年度任用職員以外の職員（千円）	6,923	7,049	7,723		
人件費	所要人員（人）	0.90	0.90	0.90	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		6,923	7,049	7,723	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
都市計画変更へ向けた、関係者協議を行い、都市計画変更を立川市と令和7年3月28日に同日告示を行った。 【内容】 ・E2地区における施設計画の具体化にあわせて地区整備計画を一部変更 ・G1地区における施設計画の具体化にあわせて地区整備計画を変更。また、構想線として位置づけていた区間を地区幹線道路6号（延長の変更）に指定	本地区において、様々な土地利用の機運が醸成されてきたため、法定手続きを含めた様々な計画のスケジュール調整及びタイミングが課題である。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 村山工場跡地は、地区計画制度により都市基盤施設の整備を図るとともに、地域の活力やにぎわい創出に資する土地利用を誘導し、多様な機能が集積する市の中心市街地としてふさわしいまちづくりを進める必要がある。 引き続き、土地利用の動向を注視しながら、関係機関との連絡調整を適宜行い、スムーズに土地利用ができるよう都市計画変更に関する協議・調整や、必要に応じて地区計画の変更を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都営村山団地再生計画関連事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	事業 係 内線 276
	根拠法令等	都市計画法、公営住宅法		
	目的	都営村山団地の地域再生及び活性化を図るため、東京都との協定に基づき団地再生計画事業を推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	都営村山団地後期計画事業に伴う東京都との協議調整を行い、円滑な建替事業を進める。 後期計画事業：平成27年度～令和12年度（予定）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	団地敷地内に存する旧赤道の財産処理に関する協議調整	—
2	団地再生計画の東京都との協議調整	—	実績	推進	推進	
			達成率	—	—	
			目標	推進	推進	推進
			実績	推進	推進	
			達成率	—	—	
			目標	推進	推進	推進

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		0	0	0		市民や市議会等から都営村山団地後期計画事業の第二期建替計画の移転時期や引越し費用に関する質問が寄せられている。
財源内訳	一般財源	-	-	-		
	国都支出金	-	-	-		
	その他	-	-	-		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	462	470	515		
	所要人員（人）	0.06	0.06	0.06		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		462	470	515		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当


令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
東京都に対して都営村山団地後期計画建替事業に係る調整及び進捗確認を行った。	団地創出用地の将来土地利用に関しては、新青梅街道拡幅整備事業や、多摩都市モノレールの延伸を見据え、にぎわい創出に資する土地利用を誘導するよう東京都と協議調整を行う必要がある。

今後の方針	
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
成果	都営村山団地後期計画事業の計画的な実施を東京都に要請するとともに、多摩都市モノレールの延伸を見据え、市民生活を支援する商業・サービス機能などの誘導について検討を進めていく。引き続き、関係機関との連絡調整を適宜行い、関係者協議を進め、建替事業の円滑な推進を図っていく。また、団地敷地内に存する旧赤道の財産処理に関する協議調整を推進する。
	今後の方針
	コスト
	削減 維持 増加
向上	
維持	○
低下	

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

所管課の評価

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	横田基地軍民共同使用推進事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	企画財政 部	企画政策 課	企画政策 係	内線 372
	根拠法令等	—			
	目的	横田基地の整理・縮小・全面返還に向けた過程の一つとして横田基地の軍民共同使用を推進し、人の交流や物流の拡大により基地周辺地域の活性化を図る。			SDGsの取組 17 パートナリシップで目標を達成しよう 
内容	横田基地の軍民共同使用に関する情報収集を行う。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				1	情報収集の実施	—	目標
—	実績	実施	実施				
		達成率	—	—			
2	—	—	目標	—	—	—	
—				実績	—	—	
					達成率	—	—

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費(千円)		0	0	44
財源内訳	一般財源	-	-	44
	国都支出金	-	-	0
	その他	-	-	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	199	203	222
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		199	203	266

市民・議会等から寄せられた意見

令和6年12月の横田基地の民間機利用促進等に関する調査特別委員会で今後も調査研究を進めていただきたいとの意見があった。

一方で令和6年9月の予算特別委員会等では、計画を取り下げしてほしいとの意見もあった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和6年度は、東京都と本市を含め、5市1町から構成される横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会において、情報交換を行った。	東京都及び横田基地周辺自治体で、立場の相違がある。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
東京都は、令和8年度国の施策及び予算に対する東京都の提案要求において、引き続き横田基地の軍民共用化の推進を最重点として要求している。 引き続き東京都と連携しながら、横田基地の軍民共同使用に関する情報収集を行う。	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地籍調査事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	管理 係	内線	266
	根拠法令等	国土調査法 国土調査促進特別措置法				
	目的	地籍の明確化により、被災後の復旧、復興事業の迅速化を図る。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	予定年度：平成27年度より 調査箇所：大規模国有地、区画整理事業区域、日産工場跡地及び都市計画公園を除く市内全域 調査面積：10.70Km ² 、調査手法 都市再生地積調査事業、官民境界石埋設、図面等作成					

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	1	地籍測量実施面積 (調査、測量工程/閲覧工程)	Km ²	目標	0.11/0.13	0.11/0.09	0.12/0.08
				実績	0.09/0.13	0.09/0.08	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	—			
事業費(千円)	25,848	43,009	25,809				
財源内訳	一般財源	9,573	13,494				8,025
	国都支出金	16,275	29,515				17,784
	その他	0	0				0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,770	3,055				4,462
	所要人員(人)	0.36	0.39				0.52
	会計年度任用職員(千円)	0	782				186
	所要人員(人)	0.00	0.50				0.10
合計(事業費+人件費)	28,618	46,846	30,457				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和6年度は調査、測量工程及び閲覧工程を実施し、令和4年度分の登記を行っている。 令和6年度時点で、事業対象面積(10.7Km ²)に対する登記完了面積は0.62Km ² であり、進捗率は6%となっている。	令和3年度に、補助金の交付展開に向けた国との協議を実施しており、その結果、継続して協議していく必要があるため、今後の事業が変更となる可能性がある。 令和6年度より、調査、測量工程の筆数が大幅に増となっており、現在の職員体制では本事業を実施することが困難になっている。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、平成27年度から、調査から認証までの各工程を2か年に分けて実施しており、主な工程として①調査、測量、地籍簿案の作成及び②閲覧、認証があり、初年度に調査から地籍簿案の作成までを行い、次年度に地籍簿案の閲覧及び認証を行っている。次々年度にその認証を経て、法務局へ成果を送付し登記完了となるため、事業完了まで3年を要する。 地籍調査によって土地の境界や面積などを正確にし、被災後の復旧や復興作業の迅速化を図るものであることから、今後も継続する必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	用途地域等の見直しに伴う都市計画変更事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係	内線 272
	根拠法令等	都市計画法			
目的	前回の区域区分の変更から19年が経過し、区域区分及び用途地域の境界根拠としている地形地物の変化が生じている。これに伴い東京都で一括して実施する区域区分等の変更に合わせて、市決定の用途地域に関する都市計画変更を行うものである。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	以下の予定で業務を行う。 令和4年度：都市計画素案説明会資料作成及び説明会開催 令和5年度：都市計画原案の作成及び説明会資料作成 令和6年度：都市計画変更告示				

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	年度業務の計画的な推進	—	目標	東京都協議等実施	都市計画変更告示	—
				実績	東京都協議等実施	都市計画変更告示	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		4,059	0	0	
財源内訳	一般財源	4,059	-	-	
	国都支出金	0	-	-	
	その他	0	-	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,308	2,350	2,575	
	所要人員（人）	0.30	0.30	0.30	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		6,367	2,350	2,575	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

所管課の評価	令和6年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
	令和5年度に行った内容を踏まえ、都市計画を変更し告示を行った。	—

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和6年度に策定する立地適正化計画における居住誘導区域及び都市機能誘導区域の設定に合わせて、用途区域等を見直し、都市計画変更を行うことで適正な土地利用の誘導を図る必要があり、令和6年度に都市計画の変更を行ったため、事業を終了する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持					低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持																							
	低下																							

（廃止・休止・終了の場合は「O」の記入不要）

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立地適正化計画策定事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市再生特別措置法		
目的	第二次まちづくり基本方針（都市計画マスタープラン）に掲げた、多摩都市モノレール延伸を見据えたまちづくりを進めるため、多摩都市モノレール新駅周辺に適正な都市機能を誘導し、公共交通網の見直しと公共交通ネットワークの再構築により、市民生活の利便性を向上し、持続可能な都市づくりを目指す。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	令和5年度：計画準備、立地適正化計画検討、防災指針（案）作成 令和6年度：立地適正化計画案作成、パブリックコメント、計画策定公表			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	立地適正化計画の策定	—
実績	検討	計画策定				
達成率	—	—				
2	—	—	目標	—	—	—
実績			—	—		
達成率			—	—		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		11,682	11,792	0		—
財源内訳	一般財源	3,862	4,067	-		
	国都支出金	7,820	7,725	-		
	その他	0	-	-		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	4,616	4,699	0		
	所要人員（人）	0.60	0.60	0.00		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		16,298	16,491	0		


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
立地適正化計画については、2か年での策定業務を予定しており、令和6年度は2年目となる。 令和6年度は、都市機能誘導の区域設定と誘導方針・誘導施策の検討、都市防災に関する指針の検討などを行った。その検討内容を踏まえて計画素案として取りまとめた後、パブリックコメントにより市民の意見を集約し、都市計画審議会に諮問し意見を伺い、市議会への説明、庁議を経て令和6年度末に計画策定し、公表した。	—

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
立地適正化計画については、2か年で策定業務を行い、令和7年3月に同計画を策定し公表したため、事業を終了する。 同計画の策定・公表に伴い、一定規模の開発行為や建築等行為等を行う際に、行為着手の30日前までに市への届出が必要となるため、今後は、同計画に基づき届出制度等の運用を実施していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・4・39号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業を活用し、立川都市計画道路3・4・39号武蔵砂川駅複線（区間：学園一丁目25番地先～榎三丁目22番地先、幅員16m、延長約400m）を整備する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	立3・4・39号（学園一丁目25番地先～学園一丁目48番地先）までの約400mの区間を整備するもの。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	年度業務の計画的な推進	—	目標	用地取得	用地取得	用地取得
				実績	用地取得	用地取得	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）		49,744	116,711	86,754
財源内訳	一般財源	0	0	0
	国都支出金	49,744	116,711	86,754
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	4,616	4,699	5,149
	所要人員（人）	0.60	0.60	0.60
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		54,360	121,410	91,903

市民・議会等から寄せられた意見	
江戸街道と交差する交差点付近について早急な整備が求められている。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当


令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●用地取得の折衝 ●用地の取得及び物件補償の契約 	事業期間は平成29年度から令和8年度までの10年間となっているが、関係機関との協議に時間を要し、令和4年度に事業認可を取得している。現在、用地折衝を行っているが、地権者の個別の事情等もあることから、令和8年度の事業完了が困難な状況である。

今後の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
本事業は、令和4年6月30日付けで東京都知事の事業認可を取得しており、第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業を活用し、東京都と連携協力して道路整備を進めているが、令和8年度までの事業完了が困難な状況であるため、引き続き、みちづくり・まちづくりパートナー事業の継続活用を要望する。 事業の実施に当たっては、事業の効果的かつ効率的な実施に配慮しつつ、当該路線の早期整備に向けて引き続き関係機関との連絡調整を適宜行い、用地取得等を進めていく。				
		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			


（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

所管課の評価

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調書

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・5・20号線整備事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路			
事務事業の実績	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272	
	内容	東京都における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）において優先整備路線に選定された立川都市計画道路3・5・20号東大和武蔵村山線を整備する。 主要市道第17号線～立川都市計画道路3・4・40号松中残堀線まで（幅員12m、延長約680m）について、令和7年度までに優先的に整備すべき路線として位置付けられていることから整備事業の着手に向けた検討を進める。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
	事業経費	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	
所管課の評価	事業費（千円）	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	-	-	-
		国都支出金	-	-	-
		その他	-	-	-
	人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	77	79	86
		所要人員（人）	0.01	0.01	0.01
		会計年度任用職員（千円）	0	0	0
所要人員（人）		0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）	77	79	86		
事務事業の評価	【達成度】 <input type="checkbox"/> 目標以上 <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 【理由】 他の事業を優先的に進めたため、具体的な検討は進まなかったことによるもの。				
事務事業の今後の進め方	現在、東京都において次期整備方針の検討が始まっており、今後、事業の実施も含め調整を図る必要がある。				

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・4・40号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	用地 係 内線 275
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	東京都における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）において優先整備路線として位置付けられている立川都市計画道路3・5・20号東大和武蔵村山線へ接続する路線であり、当該路線の整備により総合体育館等へのアクセス向上及び沿線の防災安全面などの環境改善を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	青梅街道峰交差点から立3・5・20号線まで（幅員16m、延長約133m）において当該路線を整備する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	1	当該地の維持管理	—	目標	維持管理	維持管理	維持管理
				実績	維持管理	維持管理	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）		846	874	899
財源内訳	一般財源	846	874	899
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	77	79	86
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		923	953	985


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性 <td rowspan="2">市民との協働により事業を実施しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td>廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果率 <td>民間委託等は可能か</td> <td><input type="checkbox"/> 困難である</td> <td><input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当</td>	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
事業に係る用地取得は完了しているが、工事着手までの期間において、当該用地の維持管理として、年5回の除草作業を実施した。	整備効果の発揮には、第四次事業化計画の優先整備路線として選定された立3・5・20号東大和武蔵村山線の整備が必要で、当事業と併せて事業効果を発揮する関連事業の立3・5・20号東大和武蔵村山線の整備は主要市道第9号線から里山に向けて事業を実施しており、西への事業着手は財政的理由から困難となっている。なお、補助金の導入、事業認可の再取得が可能であるかは、事業を休止したため、現時点では不明であることから、関係機関との調整が必要である。また、峰交差点の線形等についても関係機関と調整する必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
本事業の整備効果の発揮には、第四次事業化計画の優先整備路線として選定された立3・5・20号東大和武蔵村山線の整備が必要であり、それが進行するまでは適宜当該用地の除草作業を行い、現状維持を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・4・17号線整備事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路			
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	事業 係	内線 276
	根拠法令等	都市計画法、道路法			
目的	安全・安心な交通ネットワークの構築を軸としたまちづくりの展開を見据え、道路網の拡充によるアクセス強化等を図るために、立川都市計画道路3・4・17号桜街道線を整備する都市計画道路事業。事業手法は沿道整備街路事業を用いて行う。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	整備延長L=約980m（うち新規区間L=約440m）,W=12~20m				

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
				1	立川都市計画道路3・4・17号桜街道線の整備	—	目標	実施
—	—	—	実績	実施				
			達成率	—				—
2	—	—	目標	—	—	—		
—				—	—	実績	—	
						達成率	—	—


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		98,043	70,413	1,397,955	
財源内訳	一般財源	444	35,923	559,681	
	国都支出金	97,599	34,490	838,274	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	12,923	13,157	18,191	
	所要人員（人）	1.68	1.68	2.12	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		110,966	83,570	1,416,146	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
			市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<p>地区内残留希望者に対し、換地計画を行い個別説明を行った。また、沿道整備街路事業（区画整理事業）の区域対象者及び抵当権者の同意を得て、令和7年3月25日に東京都より立川3・4・17号沿道整備街路事業の事業認可を取得した。</p> <p>令和7年度より用地買収を行うための準備及び移転先となる代替地整備工事の発注準備を行った。</p>	<p>都市計画道路事業であるため、住民への理解及び協力が不可欠である。</p> <p>また、施工時には現道切り回しや地下埋設物など複雑かつ合理的な施工計画の検討が必要となる。</p>

今後の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>榎地区（榎一丁目の一部及び榎二丁目の全域）は、市の基本構想など上位計画に位置付けられた「都市核地区」に隣接し、市民生活の利便性や良好な住環境の向上を図るため、幹線道路の整備を推進する必要がある。</p> <p>立川都市計画道路3・4・17号桜街道線の整備について、令和5年度から工事以外のコンサルタント業務を11年の業務包括委託により委託し、令和14年度の供用開始を目指す。</p> <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和5年度：街路事業認可取得、補償調査等 ●令和6年度：用地交渉、沿道整備街路事業（区画整理事業）認可取得等 ●令和7年度：代替地整備工事 ●令和7年度～令和11年度：用地取得、物件補償等 ●令和12年度～令和13年度：道路築造工事等 	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	榎地区まちづくり事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	事業 係 内線 276
	根拠法令等	都市計画法		
	目的	榎二丁目地区のまちづくりの整備手法等を検討し、地域住民等の意見も踏まえて整備計画を策定し、秩序ある市街地の整備を行う。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	東西道路のネットワークの構築をはじめ、地域住民の意見を踏まえ地区の課題の洗い出しを行い、榎地区のまちづくりについて検討を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	榎地区まちづくり	—
				実績	推進	
				達成率	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）		98,043	0	0
財源内訳	一般財源	444	-	-
	国都支出金	97,599	-	-
	その他	0	-	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	12,923	235	258
	所要人員（人）	1.68	0.03	0.03
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		110,966	235	258

市民・議会等から寄せられた意見

市議会定例会で以下の質問があった。


- 平成27年第1回定例会：榎地区まちづくり事業と江戸街道について
- 平成28年第1回定例会：江戸街道の安全対策と榎地区など周辺地域のまちづくりについて

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
現状では、都市計画道路の整備など、ハード面について推進しているため、特段の動きなし。	住民との協働によりまちづくりを目指していたが、まちづくりに興味のある住民が少なく、今後の進め方が課題である。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
<p>榎地区（榎一丁目の一部及び榎二丁目の全域）は、市の基本構想など上位計画に位置付けられた「都市核地区」に隣接し、市民生活の利便性や良好な住環境の向上を図るため、幹線道路の整備を推進する必要がある。それと共に市民と協働し、よりよいまちづくりを目指していく。</p> <p>現在は、ハード面について推進しており、用地買収などの進捗具合により、再開予定である。計画では、令和10年頃に再開する見通しである。</p>																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p style="font-size: small;">（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）</p>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主)1号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等			
目的	路面改修により、安全で快適に通行できるよう道路環境を整備する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	主要市道第1号線(江戸街道)(以下「(主)1号線」という。)の舗装打替を実施する (区間:緑が丘出張所前交差点~東大和市境(延長約660m、幅員12m)) 舗装工:4,124㎡ 路上路盤再生工:5,579㎡ 雨水人孔調整工:4基 ほか			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	舗装打替工事(一式)の実施	—
			実績	実施	実施	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		109,943	74,387	0	
財源内訳	一般財源	0	3,304	-	
	国都支出金	109,943	71,083	-	
	その他	0	0	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,923	1,958	0	
	所要人員(人)	0.25	0.25	0.00	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		111,866	76,345	0	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●舗装工:1,660㎡ ●道路照明撤去新設工:25箇所 ●雨水人孔調整工:3基ほか 【参考(令和5年度実績)】 ●舗装工:4,124㎡ ●路上路盤再生工:5,579㎡ ●雨水人孔調整工:4基ほか	主要道路については、経年劣化が早く一定の区間の改修工事が必要となる。

今後の方針																			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 (主)1号線は、路線バスのほか大型貨物自動車も頻りに往来する本市で最も重要な路線であり、国立感染症研究所周辺安全対策事業費補助金を活用して2か年にわたり道路整備を行うものである。 令和5年度において上記区間の東から3/5の範囲で工事施工を行っており、引き続き整備を行い、予定した区間の補修工事は令和6年度をもって完了したため、事業を終了する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持				低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持																		
	低下																		
(廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要)																			

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 7号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
目的	路面改修により、安全で快適に通行できるよう道路環境を整備する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	主要市道第7号線（湖南通り）（以下「(主) 7号線」という。）の舗装打替を実施する（区間：大南二丁目130番地先～大南三丁目72番地先（延長約444m、幅員5.3m～6.2m）。令和6年度に改修工事を施工するため、令和5年度に補修工法等を決定するため舗装構造評価（FWD）調査を実施した。同調査結果に基づき令和6年度に舗装改修工を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	舗装工事等（一式）の実施	—
			実績	実施	実施	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		605	29,404	0	
財源内訳	一般財源	605	29,404	—	
	国都支出金	0	0	—	
	その他	0	0	—	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	770	784	0	
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.00	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		1,375	30,188	0	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
・舗装工 2,290㎡ ・区画線工 一式 【参考（令和5年度実績）】 ●舗装構造評価委託（473,000円） ●路上路盤再生工配合設計委託（132,000円）	主要道路については、経年劣化が早く一定の区間の改修工が必要となる。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 （主）7号線のうち、大南公園西から大南地区学習等共用施設までの区間において、舗装劣化が進み頻りに補修している。安全で快適に通行できるよう当該路線に対して、令和5年度にFWD調査を行い、同調査結果に基づき令和6年度に舗装改修工を行ったため、事業を終了する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）																						

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 12号線拡幅整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	道路法		
	目的	地域防災計画で指定されている災害時の緊急活動重要路線として整備するとともに、都市計画マスタープランで示されている、補助幹線道路としての道路ネットワークの整備を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	延長約370m、現況幅員5.46mから10.57mの道路を12mに拡幅（交差点部14m）する。用地買収面積は約2,820㎡（公社先行取得分含む。）。平成28年度から用地取得、令和7年度から下水道工事、令和9年度から一部道路工事を予定している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	用地取得進捗率	%
			実績	73.3	73.3	
			達成率	99%	96%	
2	道路築造進捗率	%	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算			市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）				72,566			10,916			92			
財源内訳	一般財源			38,258			5,503			92			
	国都支出金			34,308			5,413			0			
	その他			0			0			0			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			770			784			86			
	所要人員（人）			0.10			0.10			0.01			
	会計年度任用職員（千円）			0			0			0			
所要人員（人）			0.00			0.00			0.00				
合計（事業費+人件費）				73,336			11,700			178			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和6年度は、当初予定していた地権者との契約をまとめることができなかった。 また、当該路線のうち広く用地取得が完了している箇所について、下水道の汚水管の布設替え工事を実施するため工事発注を行ったが、不調となり未実施であった。	用地取得については、地権者の事業への理解が必要であり、用地取得が進むにつれて計画的な用地取得の見通しを立てることが難しくなるが、引き続き丁寧な説明に努めていく。


今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
事業が進むにつれ道路の用地取得が難航してくると予想しているが、引き続き丁寧な説明をして用地取得に努める方針である。 また、当該路線のうち広く用地取得が完了している箇所について、下水道の汚水管の布設替えを引き続き実施する。 今後、用地取得の進捗に合わせて一部道路の先行整備について検討を始め、早期の供用開始に努める。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

事務事業の概要

事務事業の実施状況

所管課の評価

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 18号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
	目的	平成の末に北側車線の舗装がガス工事により更新されたが、南側は未改修のまま現在に至っている。特に都道55号線（日産通り）と主要市道第8号線（学南通り）の接続部は劣化が進行しており、補修工事を行うものである。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	FWD調査を実施し、舗装補修工事を行うものである。 該当箇所：大学通り（東経大東交差点～立3・4・39号線） 施工内容：舗装工事（半幅）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	1	舗装構造評価委託（一式）の実施	—	目標	—	—	実施
				実績	—	—	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）		0	0	528
財源内訳	一般財源	-	-	528
	国都支出金	-	-	0
	その他	-	-	0
	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	784	859
人件費	所要人員（人）	0.00	0.10	0.10
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		0	784	1,387

市民・議会等から寄せられた意見	
経年劣化による亀裂、陥没等の苦情は多い。	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和6年度においては実績なし。令和7年度においてFWD調査を実施予定である。	令和7年度のFWD調査の実施結果を踏まえて、令和8年度に実施する舗装工事の舗装構成を検討する必要がある。

今後の方針				
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
当該路線は住宅地内の道路であるが、循環バスをはじめ大型車両の通行も多く、路面の劣化は高度に進行している状況である。 令和8年度において、令和7年度のFWD調査の実施結果を踏まえて舗装工事を実施する。				
成果	今後の方針			
	コスト	削減	維持	増加
		向上		
維持				
低下				

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	B-27号線ほか2路線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
	目的	路面改修により、安全で快適に通行できるよう道路環境を整備する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	一般市道B-27号線は、道路を横断する深い亀裂が生じているほか、側溝と舗装が剥離する状態にある。また、認定外道路B-13及び同34号線は、道路が深く沈下し、隣接する住宅の汚水管が地中で折れる被害が生じていることから2か年にわたり路面改修を行う。 一年目：雨水排水施設工（B-27号線） 二年目：舗装工等（B-27号線、外B-13、同34号線）			

事務事業の実施状況	評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		1	整備工事（一式）の実施	—	目標	実施	実施	実施
					実績	実施	未実施（入札不調）	
					達成率	—	—	
		2	—	—	目標	—	—	—
					実績	—	—	
	達成率				—	—		
	事業経費				令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 経年劣化による亀裂、陥没等の苦情は多い。
	事業費（千円）				31,409	0	9,889	
	財源内訳	一般財源				9	-	
国都支出金				31,400	-	0		
その他				0	-	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				770	784	859	
	所要人員（人）				0.10	0.10	0.10	
	会計年度任用職員（千円）				0	0	0	
	所要人員（人）				0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）				32,179	784	10,748		


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
	令和6年度については入札不調のため実績なし。 【参考（令和5年度実績）】 ●雨水管きょ布設工：L=89.68m ●組立人孔設置工：4基 ●L形側溝撤去設置工：32.8m ほか 区間：大南三丁目80番地先～大南三丁目81番地先	認定外道路B-13及び同34号線は、道路が深く沈下し、隣接する住宅の汚水管が地中で折れる被害が生じていたこともあり、当該地域の地盤が不安定である。

所管課の評価	今後の方針			
	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
	工事費が高額となるため分割して施工予定であり、初年度（令和5年度）は道路下に排水管を敷設し、地盤沈下している土壤に雨水が浸み込むことを防止する。二年目（令和6年度）は亀裂や陥没している道路の舗装及びL型側溝を補修する予定だったが、入札が不調となったことから実施せず、令和7年度に舗装及びL型側溝整正工等を行い、整備工事は終了となる。			
	成果	今後の方針		
		コスト		
削減		維持	増加	
向上				
維持		○		
低下				

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	既設道路整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
	目的	市が管理する道路における小規模な舗装及び街きよ等の補修を実施するための工事請負費であり、危険性や重大性の高いものから順位をつけて道路を整備し、道路環境の改善を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	本事業は、工事発注に至らない簡易な舗装改修等の工事が中心である。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	舗装等改修工事	箇所
			実績	29	35	
			達成率	145%	175%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費(千円)		44,987	43,121	45,000
財源内訳	一般財源	44,987	43,121	45,000
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	19,230	19,579	21,452
	所要人員(人)	2.50	2.50	2.50
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		64,217	62,700	66,452

市民・議会等から寄せられた意見


本事業は、生活道路を中心とした比較的小規模な道路の補修工事を実施している。市民及び市議会議員を通じた要望件数が多く、限りある予算の関係上、受付年度内に全てを対応できていないものの、工事の施工に対しては要望者から喜びの声がある。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●道路補修工事 35か所	直営以外の補修工事は、その大部分を本事業により実施している。既設道路は経年劣化が進行し、現在の部分的な補修の繰り返しでは、将来、大規模な改修工事が必要となり、多額の費用が必要となる。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
安全で円滑な交通環境を確保するため、一般市道等における道路破損個所の補修等を実施するもので、工事個所と工法を精査しながら事業を執行する。																						
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	私道整備補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	武蔵村山市私有道路整備事業費補助金交付要綱		
	目的	私有道路の整備工事等に要する費用に対して補助金を交付することにより、私有道路における交通安全の確保と利用者の生活環境の向上を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	補助率は、路面舗装、雨水排水施設及び街きょ整備の各工事は8割、雨水排水施設浚渫作業は5割としている（いずれも見積額と基準額を比較し、少ない額を補助する）。			
対象（交付先）	私有道路の整備工事等を行う者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	整備工事等	箇所
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
補助金	交付金額（千円）	0	0	2,000								
	一般財源	-	-	2,000								
	国都支出金	-	-	0								
	その他	-	-	0								
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	430								
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.05								
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0								
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00								
合計（補助金+人件費）				0	0	2,430						

市民・議会等から寄せられた意見	
-	
他市等の状況	
隣接市町等の私道整備事業等の状況	
制度なし：東大和市	
制度あり：立川市、瑞穂町、国立市、昭島市	

交付団体等の決算予算の状況				令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
収入	総額（千円）	0	0	0		
	市補助金	-	-	-		
	会費	-	-	-		
	繰越金	-	-	-		
	事業収入	-	-	-		
支出	総額（千円）	0	0	0		
	交際費、飲食費	-	-	-		
	人件費	-	-	-		
	事業経費	-	-	-		
	その他	-	-	-		

交付団体等の令和6年度の市補助金の使途	
交付金額（千円）	0
使途内訳	
割合（%）	
団体収入に占める補助金の割合	-
団体収入に占める繰越金の割合	-
交付金額に対する繰越金の割合	-

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和6年度は、市民より相談はあったが期間内に申請に結びつかず、実績は0件であった。なお、令和7年度に申請予定である。	私道は、個人等が所有する土地を道路として利用しているものであるため、本事業は、私有財産の整備に補助金を支出しているものとなる。

今後の方針

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

近年は申請自体がなく交付実績もなかったが、令和7年度においては6月までに2件の問合せがあり、今後申請がなされるものと考えている。

また、私有財産の整備への補助金ではあるが、緊急車両の通行や災害時の避難路等にも供されることから、今後も引き続き本事業を実施していきたい。


今後の方針			
成果	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		私道整備補助事業	
所管部署		都市整備部 道路下水道課 維持補修係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、私有道路の整備工事等を行う者に対して、その整備工事等に要する費用の一部を補助することで、私有道路における交通安全確保と利用者の生活環境の向上を図るものである。現状、私有道路の維持管理は土地所有者に委ねられているものの、私有道路の中には、不特定多数の通行人の用に供され、火災や震災時における緊急車両の通行にも必要な機能を有し、機能的に本市の生活道路網の一部となるものがある。その公共性を踏まえれば、本制度に基づく一定の条件を満たす私有道路の整備に要する費用を補助することは、その意義が認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>しかしながら、全ての要整備道路を体系的に把握することは困難であり、現行制度では地権者からの申請に基づき審査が行われているという実情がある。</p> <p>よって、制度の周知を一層徹底することも重要であるが、それに加え、整備箇所の優先順位付けをより積極的に行うための仕組みを導入することが望ましい。例として、学校や保護者、警察等が連携して実施する通学路合同点検や自主防災組織等による避難経路の確認などにより把握した危険箇所については、土地所有者へ整備を促すとともに、関係部局が連携して積極的に関与していくことを求めたい。</p>		

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	市営住宅長寿命化計画に基づく計画修繕事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 3 住宅・宅地		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	開発・住宅 係 内線 278
	根拠法令等	公営住宅等長寿命化計画策定指針（国土交通省住宅総合整備課） 武蔵村山市営住宅長寿命化計画		
	目的	市営住宅の円滑な更新とライフサイクルコストの縮減、事業費の平準化の実現のため、武蔵村山市営住宅長寿命化計画に基づき市営住宅の維持管理等を実施することにより、長寿命化を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	市営三ツ木住宅（昭和63年竣工）、市営中央住宅（平成2年竣工）ともに築30年を超えている。維持補修等を行い長寿命化を図りつつ、バリアフリー化など多様なニーズに対応した居住環境を整備するため、計画に基づき福祉対応型改善工事及び長寿命化型改善工事を実施する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	市営三ツ木住宅の福祉対応型工事及び長寿命化型工事の実施	-	目標	福祉改善型工事施工	-	-
				実績	福祉改善型工事施工	-	-
達成率				-	-	-	
2	市営中央住宅の福祉対応型工事及び長寿命化型工事の実施	-	目標	-	福祉改善型工事施工	-	
			実績	-	福祉改善型工事施工	-	
			達成率	-	-	-	

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）		592	782	0
財源内訳	一般財源	327	431	-
	国都支出金	265	351	-
	その他	0	0	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	924	940	0
	所要人員（人）	0.12	0.12	0.00
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		1,516	1,722	0


市民・議会等から寄せられた意見	
-	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
市営中央住宅の福祉対応型（便所及び浴室手すり設置）工事を実施した。	昨今の建築費等の高騰により、改修工事費の増大が見込まれる。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本市における住宅のニーズの変化や、厳しい財政状況等を踏まえて、市営住宅の円滑な更新とライフサイクルコストの縮減、事業費の平準化を実現するため、具体的な住宅ストックの活用方法や事業内容を検討し、令和元年度に市営住宅長寿命化計画を策定した。 今後も同計画の事業スケジュールに基づき、市営三ツ木住宅及び市営中央住宅の長寿命化型工事を順次行っていく。財政状況を踏まえ令和7年度末時点における今後の予定を次のとおりとする。 【今後の予定】 ●市営三ツ木住宅：令和9年度 設計、令和10年度 工事 ●市営中央住宅：令和11年度 設計、令和12年度 工事																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																						

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	空家等対策推進事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 3 住宅・宅地		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	開発・住宅 係 内線 278
	根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法		
目的	空家等対策について効率的かつ効果的に実施するため、市内における空き家の活用や適正管理、除去を含めた空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するための計画（以下「空家等対策計画」という。）を踏まえ、各種施策を推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	令和6年3月に策定した空家等対策計画を踏まえ、（仮称）空家等対策協議会を設置するなど推進体制を構築し、各施策を推進・空き家の適正管理を図る。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	空家等対策計画の策定	—
2	空家等対策計画の施策の推進	—	実績	空家等対策計画策定	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	空家等対策協議会の設置
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			達成率	—	—	—


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		8,250	0	867		空き家問題は、市議会定例会の一般質問において、ほぼ毎回取り上げられている。また、空き家対策については、空家等対策計画を策定し各種具体的な施策を推進していくこととしている。
財源内訳	一般財源	2,923	-	867		
	国都支出金	5,327	-	0		
	その他	0	-	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	3,000	0	1,116		
	所要人員（人）	0.39	0.00	0.13		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		11,250	0	1,983		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
市民等から苦情のあった空き家等の管理者に対し、適正管理通知文等を送付した。また、空き家に関するセミナーを開催した。 空き家マッチング制度の取組を推進するため庁内検討委員会を開催し、制度の要綱制定に向けて協議を行った。	空家等の所有者に対し通知文を送付するものの、土地建物の所有者との連絡がつかない案件が多い。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 令和6年3月に策定した空家等対策計画に基づき、（仮称）空き家対策協議会を設置し、管理不全空家等への対応など、管理の推進に向けた取組を進めていく。 空き家マッチング制度について要綱を制定し、空き家の解消に向けた取組を推進する。 適正な管理が必要な空き家に関しては、空き家の所有者をはじめ戸籍等の調査を行い、関係人の把握に努め、管理者の特定に向けた取組を進める必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	管渠改良事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	下水道法、道路法		
	目的	交差点拡幅等の道路改良の際に、道路下に埋設している下水道管について移設する必要が生じるため、管きよ及び取付管の改良工事等を実施する。		SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に 
内容	管きよ及び取付管の敷設替えを実施する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	管きよ改良工事件数 ※交差点拡幅等の道路改良事業に伴い発生する事業のため、目標設定をすることが困難。	件	目標	—	—	2
				実績	1	1	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費(千円)		105,425	16,720	229,769
財源内訳	一般財源	0	0	0
	国都支出金	0	0	80,570
	その他	105,425	16,720	149,199
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,462	1,488	3,261
	所要人員(人)	0.19	0.19	0.38
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		106,887	18,208	233,030


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和6年度は、都道交差点改良工事に伴う管きよ改良工事詳細設計と空堀川整備工事に伴う管きよ改良工事(令和7年度完了予定)を実施した。	すいすいプラン(交差点改良事業)等の東京都の事業に伴う管きよ敷設替えについては、都の事業進捗状況に左右されるため、敷設替えを行う時期が変更となる可能性がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和7年度については、道路改良に伴う改良工事2件、空堀川河川改修工事に伴う管きよ改良工事1件を予定している。 また、今後実施が想定される立川都市計画道路3・4・17号桜街道線整備工事や、みちづくり・まちづくりパートナー事業に関する管きよ改良工事が開始された際には、下水道管の移設工事を全線行う必要があり、工事費等の事業費及び従事するための業務量が膨れ上がると想定している。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	新青梅街道拡幅による污水管布設替え事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	下水道法、道路法		
目的	新青梅街道拡幅に伴い道路下に埋設している下水道管について、モノレールの基礎に支障となることから移設する必要が生じたため、管きよ及び取付管の改良工事等を実施する。		SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に	
内容	管きよ及び取付管の敷設替えを実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	管きよ改良工事件数 ※道路拡幅事業に伴い発生する事業のため、目標設定をすることが困難。	件
			実績	—	1	
			達成率	—	—	
2		—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算			市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）				0			177,653			390,315			
財源内訳	一般財源			-			0			0			
	国都支出金			-			3,237			6,050			
	その他			-			174,416			384,265			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			0			1,488			6,007			
	所要人員（人）			0.00			0.19			0.70			
	会計年度任用職員（千円）			0			0			0			
	所要人員（人）			0.00			0.00			0.00			
合計（事業費+人件費）				0			179,141			396,322			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和6年度は、工事1件と令和7年度以降の工事に係る詳細設計1件を実施した。	東京都による用地買収の進捗に影響される部分が多く、スケジュールを立てることが難しいが、今後5年程度の間には移設を完了させる予定である。事業費は、数十億円必要となる見通しである。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
多摩都市モノレール延伸による新青梅街道拡幅事業の実施に合わせ、当該路線下に占用している污水管を移設する必要があり、令和6年度より移設工事を開始している。																								
令和7年度については、工事を8件、設計を2件実施する予定である。工事については、2か年にわたる工事が多く、予算管理が非常に難しい。また、令和7年度からは業務の一部について東京都都市づくり公社へ工事を委託し、事業を実施していく方針である。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	下水道ストックマネジメント事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	下水道法		
目的	武蔵村山市下水道ストックマネジメント計画及び武蔵村山市下水道ストックマネジメント実施方針に基づき、計画的に点検、調査、施設の改築等を実施する。		SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に	
内容	1期当たり7年（点検調査（2年）、計画策定（1年）、実施設計及び工事（4年））の工程で計画的に事業を第1期から第7期（令和2年度から令和26年度）の7つの工期に分けて実施する。※各期を一部重複して進めていくため最終年度は令和26年度の予定となっている。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				1	事業完了までに要する全ての作業工程（7作業×7工期=49工程）に対する事業進捗率	%	目標
実績	10.2	16.3					
達成率	100%	114%					
2	—	—	目標	—	—	—	
				実績	—	—	
				達成率	—	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		79,993	214,223	243,297		—
財源内訳	一般財源	0	0	0		
	国都支出金	11,865	29,820	21,107		
	その他	68,128	184,403	222,190		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	385	392	859		
	所要人員（人）	0.05	0.05	0.10		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		80,378	214,615	244,156		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和6年度は、第1期工事1年目と令和7年度に予定している第1期工事2年目の基本設計及び実施設計、第2期の管きょ及びマンホール蓋の点検・調査を実施した（2年目）。 事業完了までに要する全49工程のうち、8工程まで終了し、事業進捗率は16.3%となった。	公共下水道管のストックを継続して適正に維持管理していく上で本事業は必要不可欠であるが、市内全域の管きょ延長約273Kmを対象に1期7年、7期にわたる長期の事業となり、事業費が膨大である。 また、第7期が完了した時点で、また第1期に戻り永続的に事業を進めていくことが予想される。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 令和7年度については、第1期改築工事（2年目）、第1期改築工事（3年目）のための詳細設計、第2期改築計画策定を実施していく。 今後も継続してスケジュールに沿って事業実施を進めていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	雨水管理総合計画策定事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	下水道法等		
	目的	下水道法改正により下水道で浸水被害を防ぐべき目標となる降雨（計画降雨）を定め、施設整備の目標を明確化し下水道事業計画に位置付けることが規定され、雨水対策に関する各事業を計画的に進めていく必要があるため、当該計画を策定する。		SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に
内容	浸水リスクを評価し、優先度の高い地域を中心に計画的な浸水対策を実施するため、雨水管理総合計画を策定する。現在進めている各浸水被害対策事業の連携を図りつつ計画的に進めていくために、基本的な事項を定める。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	雨水管理総合計画策定	—	目標	河川協議	浸水想定区域策定（1年目）	策定
				実績	河川協議	浸水想定区域策定（1年目）	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）		1,100	15,268	32,340
財源内訳	一般財源	1,100	11,451	20,340
	国都支出金	0	3,817	12,000
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,000	1,019	1,116
	所要人員（人）	0.13	0.13	0.13
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		2,100	16,287	33,456

市民・議会等から寄せられた意見	
—	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和6年度は、令和7年度に予定する内水浸水想定区域図策定に向けた基礎資料収集等を実施した。	治水に関わる部署が多岐に渡るため、関係者協議（協議先は計画に定める内容による。）に係る業務量が多い。 特に河川への雨水放流量に関する河川管理者（東京都）との協議は期間と労力を要することが想定される。

今後の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
成果	向上	○		
	維持			
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	公共下水道事業計画認可事務		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	下水道 係 内線 255
	根拠法令等	下水道法第4条第6項の規定による準用する同条第1項及び第2項の規定		
目的	下水道法第4条により公共下水道事業を行うものは、事業計画を定め、国土交通大臣又は都道府県知事の協議を行わなければならない、軽微な変更を除き、事業計画を変更する場合も同様とする。事業計画の変更に伴う変更図書を作成するものである。	SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に		
内容	下水道法第4条第6項により、事業期間の延伸も含め、都知事に協議を行う必要がある。従前の事業計画において、令和6年度末までとしていた事業期間を1年間延長し、令和7年度末までとした。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	公共下水道事業計画変更に伴う変更図書の作成	—	目標	—	実施	実施
				実績	—	実施	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費(千円)		0	0	40,615
財源内訳	一般財源	-	-	40,615
	国都支出金	-	-	0
	その他	-	-	0
会計年度任用職員以外の職員(千円)		0	7,832	8,581
人件費	所要人員(人)	0.00	1.00	1.00
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		0	7,832	49,196


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市民の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和6年度は、事業期間の延長のための変更図書の作成を行った。また、下水道法第4条第6項において準用する同条第2項の規定による協議を東京都に行い、了承を得ている。	本認可変更図書の作成については、東京都が流域下水道の事業計画を4年から5年に1回の頻度で行うこととなっていることから、本市において事業計画の変更がなくても、それに合わせて事業計画の変更が必要である。また、その経費が大きいので、できる限り、この頻度に合わせて本市の事業計画も変更することとしている。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和9年度においては、主に荒川右岸処理区の雨水事業の都市計画変更を行う予定である。また、令和10年度においては、現在、雨水事業の認可がされていない荒川右岸処理区について、都施工による空堀川上流雨水幹線整備事業に伴い必要となる雨水管整備のために、事業計画変更を行うこととしており、それに併せて都市計画変更を行う予定である。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	空堀川上流雨水幹線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	下水道 係 内線 255
	根拠法令等	下水道法		
	目的	本市南東部の大南地区は、雨水の排出先である空堀川より地盤が低く、本市単独で河川に排出することが困難であるため、立川市、東大和市及び本市の雨水をまとめて排出する「流域雨水幹線」を、東京都下水道局流域下水道本部において施設整備することが決定し、施設整備を進める。関係市町は、その建設に係る費用の一部を負担する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	平成30年度：空堀川流域広域雨水整備検討協議会及び幹事会の開催 整備手法の検討・方針決定 令和元年度～令和4年度：設計及び建設局河川部との協議等 令和4年度～令和12年度：工事			

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	設計及び建設局河川部との協議等	—	目標	推進	推進	推進
				実績	推進	推進	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）		39,930	276,507	736,716
財源内訳	一般財源	39,930	276,507	736,716
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		39,930	276,507	736,716

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性 <td rowspan="2">市民との協働により事業を実施しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td rowspan="2">民間委託等は可能か</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当</td>	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性 <td rowspan="2">事業費の更なる削減は可能か</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切である</td> <td><input type="checkbox"/> 不適切な部分がある</td>	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題																										
<p>工事の進捗状況として、令和6年度は第1工区のシールド工事を進めている状況である。</p> <p>【これまでの経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年11月21日に空堀川雨水幹線協議会（流域・3市）を設置し、同協議会において、これまで事業費の経済性及び雨水対策効果の早期発現に配慮した雨水計画の検討を行った。 令和2年1月～：調査設計（全線） 令和3年3月～：土質調査・実施計画（第1工区） 令和4年12月～：第1工区発信立坑工事契約 	<p>流域下水道の建設事業のうち雨水事業に係る経費の支出は、全額企業債を財源とするが、企業債の元利償還金及び利息については、一般会計からの繰出しとなる。</p>																										
今後の方針																											
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>大南地区の雨水管整備については、地盤高や空堀川との位置関係の都合上、本市、立川市及び東大和市並びに東京都下水道局流域下水道本部が連携して対応を図る必要がある。</p> <p>平成30年9月に流域雨水幹線（大南地区）を流域下水道事業として整備することが決定しており、今後も引き続き流域下水道本部と調整を続け、事業を推進していく。</p>																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align: right;">（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）</td> </tr> </tbody> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下				（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）				
				今後の方針																							
		コスト																									
成果	向上		○																								
	維持																										
	低下																										
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																											

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	荒川右岸排水区雨水対策事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	都市計画法、下水道法		
目的	立川市、東大和市及び本市の3市にまたがる空堀川上流雨水幹線の整備が進んでいることから、市域の雨水管の基本設計等を行い、雨水対策事業を推進する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	雨水管の整備に向け空堀川右岸広域雨水排水区のルート検討を実施する。また、現在都市計画決定している雨水排水区割に対して将来計画の排水区割を変更する必要があることから、詳細検討を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
				1	設計等の実施数	件	目標	1	1	2
							実績	1	1	
							達成率	100%	100%	
2	-	-	目標	-	-	-				
			実績	-	-					
			達成率	-	-					

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費(千円)		6,380	11,316	57,304
財源内訳	一般財源	4,785	8,487	49,932
	国都支出金	1,595	2,829	7,372
	その他	0	0	0
会計年度任用職員以外の職員(千円)		1,539	1,567	1,717
人件費	所要人員(人)	0.20	0.20	0.20
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		7,919	12,883	59,021

市民・議会等から寄せられた意見	
-	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和6年度は、空堀川右岸第五・第六排水区について当該エリアの今後の雨水管整備を実施するために必要なルート決定及び雨水量の計算書等の検討を行った。	現状、当該排水区は、公共雨水事業について事業認可を取得していない。また、都市計画決定についても将来計画に合致した雨水の排水区域が設定されていない。空堀川上流雨水幹線の整備計画が進んでいることから、今後雨水管の布設に向けた検討を行い、雨水対策事業を推進する必要があるが、事業期間や事業費が膨大である。

今後の方針				
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
令和7年度については、立川市、東大和市及び本市の3市にまたがる空堀川上流雨水幹線の整備計画が進んでいることから、空堀川右岸広域雨水排水区(第一・第二・第三・第十五排水区)のルート検討業務を行う。				
成果	今後の方針	コスト		
		削減	維持	増加
	向上			○
維持				
低下				

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	多摩川上流排水区雨水対策事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	都市計画法、下水道法		
目的	新青梅街道の拡幅に伴い、雨水管の整備を行うことにより、新青梅街道沿道の浸水被害対策を図ることが目的である。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	現行の新青梅街道から排出される道路の雨水は、残堀川へ既存の道路雨水管を経由し排出されている。拡幅後の道路冠水被害を避けるために雨水管の再整備が必要となることから、雨水管整備に向けた設計を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
				1	設計等の実施件数	件	目標	—	1	1
							実績	—	0	
達成率	—	0%								
2	—	—	目標	—	—	—				
			実績	—	—					
			達成率	—	—					


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	13,713	48,605	
財源内訳	一般財源	—	11,963	40,080	
	国都支出金	—	1,750	8,525	
	その他	—	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	1,567	1,717	
	所要人員(人)	0.00	0.20	0.20	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		0	15,280	50,322	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
残堀川左岸第一排水区(富士見橋・フジ塚大橋)雨水管整備詳細設計等業務について、令和6年度及び令和7年度の2か年で実施することとしている。 令和6年度については、設計に必要な地質調査を実施した。	東京都による新青梅街道の拡幅工事や河川管理者との協議の進捗状況により、予定しているスケジュールの工程が前後する状況が生じることが想定される。 また、4系統の雨水管の整備を予定しており、事業費の負担が大きい。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 現状、新青梅街道から排出される雨水は、残堀川へ既存の管を経由し排出されている。道路拡幅による増加した雨水処理については、既存の管で処理することが難しく、拡幅後の道路冠水被害を避けるために雨水管の再整備が必要となる。 今後、4系統の雨水管の整備が必要と考えており、引き続き事業を進めていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	新青梅街道拡幅による雨水管整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	下水道法、道路法等		
目的	新青梅街道拡幅に伴い雨水量の増加が見込まれるため、雨水管の整備を行う必要がある。道路改築事業に合わせて公共下水道雨水管を整備していく予定である。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	道路整備事業施行に伴う道路排水計画と下水道計画との調整等に関する協定を令和2年1月29日に東京都と締結しており、布設する管について詳細の協議を実施している。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	雨水管（協定管）整備率	%	目標	—	協議	協議
				実績	—	協議	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
会計年度任用職員以外の職員（千円）		0	1,567	1,717
人件費	所要人員（人）	0.00	0.20	0.20
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		0	1,567	1,717

市民・議会等から寄せられた意見	
—	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果率	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
引き続き東京都と実施に向けた協議を実施している。	実施に向けては、検討事項が多くあり、一方で事業スケジュールについては暫定であるため不確定要素が多い。また、短期間で整備を行うことから、事業費は非常に膨大である。

今後の方針	
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
道路整備事業施行に伴う道路排水計画と下水道計画との調整等に関する協定を令和2年1月29日に東京都と締結している。同協定は、都道の改築工事に合わせて公共下水道雨水管を都道下に整備する場合に、公共下水道管理者が公共下水道雨水管を整備するために必要な事業費を負担することにより、都道管理者が代わりに施工するものである。 令和9年度からの事業開始に向けて、東京都と実施に向けた具体的な協議を引き続き実施していく。	
成果	今後の方針 コスト
	削減 維持 増加
	向上 維持 低下
	○

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	廃棄物資源分別事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル			
	所管部署	環境 部	ごみ対策 課	ごみ対策 係	内線 292
	根拠法令等	武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画			
目的	市民の家庭等から収集等をした資源ごみの中から資源になるものを市内のリサイクルセンターに搬入、選別し、資源化処理を行う。 回収品目は、金属類、びん類、紙類、布類、剪定枝、有害物（乾電池、蛍光灯など）である。			SDGsの取組 12 作る責任 使う責任 	
内容	回収した資源物（金属類、びん類、紙類、布類）は資源化業者に売却し、剪定枝、有害物（乾電池、蛍光灯など）は資源化業者に資源化処理を委託する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	目標指標 資源化率（エコセメントを含む。）	%
実績	34.3	33.7				
達成率	92%	98%				
2	モニター指標 資源化率（エコセメントを除く。）	%	目標	28.5	26.5	26.9
実績			26.2	25.7		
達成率			92%	97%		


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 令和元年度第4回廃棄物減量等推進審議会において、委員より家庭ごみの有料化及び戸別収集の導入に当たり、市民に対してごみの分別及び資源化について、わかりやすく周知すべきであるとの意見があった。
事業費（千円）		81,319	81,793	87,330	
財源内訳	一般財源	28,963	33,223	38,295	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	52,356	48,570	49,035	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,923	1,958	2,146	
	所要人員（人）	0.25	0.25	0.25	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		83,242	83,751	89,476	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和5年度のリサイクルセンターに搬入された、資源物回収実績として、回収量は約2,867 t、内訳は資源物2,769 t、有害物23 t、残渣75 tになり、売払い収入額は33,356,923円であった。 また、市民のごみに対する意識の向上を目的とした、ごみ情報誌を年2回（8月、3月）発行し、8月号では、リユースや正しいごみの捨て方を特集し、3月号では、リチウムイオン電池を使用した電子機器の捨て方や家庭ごみ有料化及び戸別収集の導入後におけるごみ収集量の減少状況を掲載した。	市報、市ホームページ、ごみ収集カレンダー等を使用し、資源物の分別について周知を図っているが、令和5年度の家ごみ組成分析調査において、資源物が可燃ごみに約15%、不燃ごみに約18%含まれていた。 このことから、家庭から排出されるごみの中には、一定量の資源物が含まれているため、市民に対し、更なるごみの資源化及び減量化に対する意識の向上を図るとともに、分別の徹底を促すことが重要である。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和4年10月から導入している家庭ごみの有料化及び戸別収集により、これまで一括回収していた容器包装プラスチックとペットボトルを分別収集し、直接、資源物中間処理施設に搬入している。 なお、分別の徹底については、市報、ホームページ、ごみ収集カレンダー等を通じ周知することにより市民意識の向上を図るとともに、資源物の排出について、拡大生産者責任の観点から、店頭回収の利用を促していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	ごみ集積所閉鎖業務委託事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル		
	所管部署	環境 部	ごみ対策 課	ごみ対策 係 内線 292
	根拠法令等	—		
目的	令和4年10月からのごみ戸別収集の導入に伴い、戸建住宅の住民等が使用していた従来のごみ集積所を閉鎖し、不法投棄等の発生防止を図る。		SDGsの取組 12 作る責任 使う責任 	
内容	市と民間業者の間でごみ集積所閉鎖業務委託契約を締結後、市所有のごみ集積所の閉鎖を順次実施する。 また、民間所有のごみ集積所についても、所有者から閉鎖依頼があった場合は閉鎖措置を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	市所有集積所閉鎖数	箇所
			実績	78	—	
			達成率	57%	—	
2	民間所有集積所閉鎖数	箇所	目標	104	20	—
			実績	7	2	
			達成率	7%	10%	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		1,309	51	220		ごみ集積所の閉鎖措置として使用する、市提供の資材(パネコート)の色が、ごみ集積所と隣接する家の外観とそぐわないなどの指摘がある。
財源内訳	一般財源	1,309	51	220		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,923	1,958	2,146		
人件費	所要人員(人)	0.25	0.25	0.25		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		3,232	2,009	2,366		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和6年度の実績については、市所有集積所閉鎖数0箇所、民間所有集積所閉鎖数2箇所、計2箇所の集積所の閉鎖措置を実施し、市所有の集積所については、売払い等を希望している集積所を除きすべて完了した。	ごみ集積所の閉鎖措置として使用する、市提供の資材(パネコート)の色が、ごみ集積所と隣接する家の外観とそぐわないなどの指摘がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>本事業は、令和4年10月から家庭ごみ有料化及び戸別収集の導入に当たり、戸建住宅は敷地内の道路際に廃棄物を排出することから、その住民が使用していた従来のごみ集積所を廃止し、閉鎖措置を行うものである。</p> <p>市所有のごみ集積所は原則廃止し、行政財産として管理していた約240箇所の閉鎖措置を令和5年度に完了している。</p> <p>令和6年度については、引き続き申請が提出された私有地のごみ集積所に対して、閉鎖措置を行った。</p> <p>なお、令和7年度をもって、すべての閉鎖措置事業が終了予定である。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
	今後の方針		コスト																					
			削減	維持	増加																			
	成果	向上																						
維持																								
低下																								
(廃止・休止・終了の場合は「O」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	新ごみ処理施設整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル		
	所管部署	環境 部	ごみ対策 課	ごみ対策 係 内線 292
	根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・循環型社会形成推進基本法 		
目的	小平市、東大和市及び本市のごみを処理している小平・村山・大和衛生組合（以下「組合」という。）のごみ処理施設が老朽化・旧式化していること、環境保全対策の充実、安全・安心かつ安定的にごみ処理をすることも、熱エネルギー回収による循環型社会の形成、災害時に安定的なごみ処理を継続できる強靱性の確保、地域防災・環境教育・環境学習の拠点となる施設を整備するもの。		SDGsの取組 12 作る責任 使う責任 	
内容	組合の既存のごみ焼却施設を解体し、その跡地に新しいごみ焼却施設及び市民の環境啓発・環境学習の拠点となる管理棟を整備する。 また、ごみ発電による電力の地産地消事業を行い、市内の公共施設の電力に使用し、脱炭素化社会に向けた取組を推進する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	施設整備工事の進捗率 (全体事業費に対する当該年度までの累計の事業費に占める割合)	%
実績	25.6	69.5				
達成率	100%	100%				
2	-	-	目標	-	-	-
実績			-	-		
達成率			-	-		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費(千円)		0	0	0
財源内訳	一般財源	小平・村山・大和衛生組合一般		
	国都支出金	会計予算による		
	その他			
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	3,846	3,916	4,291
	所要人員(人)	0.50	0.50	0.50
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		3,846	3,916	4,291

市民・議会等から寄せられた意見

本市の市民及び議会等から寄せられた意見はない。
 組合の議会においては、施工する工場用地につながる道路の幅員が狭いことから、市民の安全を配慮した工事車両の通行に注意するよう意見があった。
 また、早朝からの工事開始に対する作業員の点呼が騒音となるので注意して工事をするよう意見があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
組合を組織する小平市、東大和市及び本市において、組合が主催する会議で本事業の進捗状況を確認した。 令和6年度は、建設に係る設計協議を進めるとともに、土木建築工事では新ごみ処理施設の建物の地上部分の鉄骨組立、コンクリート床壁打設作業、建物内の内装工事を行い、工場棟の工事を完了させた。プラント工事では主要機器である火格子やごみクレーン、蒸気タービン等の設置を行い、計画どおりに進められている。 また、新ごみ処理施設の役割や整備効果等を幅広く理解してもらうため、令和6年8月3日及び令和7年3月29日に工事現場見学会を開催した。	予算は組合で計上し、執行しているが、事業費は全体で約322億円、事業期間は令和2年度から令和9年度までとなり、多額で長期期間の施工となるため、小平市、東大和市、組合及び本市で協力して工事が確実に工期内に完了するように施工監理する必要がある。 また、新施設が稼働するまでの間、既存のごみ焼却施設で可燃ごみを焼却処理するが、既存施設の定期的な補修工事期間は組合でごみ処理ができないことから、多摩地域の他のごみ焼却施設で処理委託（以下「広域支援」という。）をしている。そのため、その広域支援が本市の財政負担の増となることから、市民に対するごみ減量に係る啓発が重要である。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 新ごみ焼却施設は、令和7年10月から本格稼働を予定している。その後、市民の環境啓発・環境教育を担う管理棟の整備を令和10年3月末までに完了させるため、引き続き、小平市、東大和市、組合及び本市で協力して工期内に完了するよう事業を進めていく。 エネルギー価格の高騰による工事費の増や、国からの補助金の削減など状況を踏まえて、本市の財政負担の増にならないよう、小平市、東大和市及び組合と情報共有を行い、必要な策を引き続き講じていく。 また、新施設が稼働するまでの間の広域支援について、その費用は全額、組合を組織する小平市、東大和市及び本市で負担する必要があることから、市民に対しより一層のごみ減量を推進するよう促していく。 新ごみ焼却施設及び管理棟の工事状況について、組合主導で情報公開をしているが、本市としても必要な情報発信は適宜行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							